

平成16年度実績の委員会活動度個別調査書

(調査研究委員会用)

委員会名 ：(5) 鋼構造委員会		委員長名 ：長井 正嗣	幹事長名 ：森 猛	
評価 総括	活動度評価項目	活動量		
	評価項目Ⅰ (委員会活動への参加・関与者数)	延 員 数：	2, 7 6 6 人	
	評価項目Ⅱ (委員会の年間収入額)	粗収益額：	5, 5 3 4 千円	
	評価項目Ⅲ (留意すべき活動内容)			
	総合評価			
評価 項目 Ⅰ	委員会開催 (小委員会以上の開催での出席者数)	委員会等	：延 1,163 人	
	研究発表会・講演会・講習会等 (参加者数) <主催：回 学会委員会間の共催：1/2,1/2 回> 主催は全人数, 共催は共催委員会数で割った人数,	主 催	：延 790 人・日	
		共 催	：延 62 人・日	
	出版物(図書・印刷物)の販売 (購入者数)	購入者数計：	延 751 人	
	・ 出版物名：鋼構造シリーズ (4種)	購入者数：	延 194 人	
	・ 出版物名：構造工学シリーズ (複合構造3種, 1/3)	購入者数：	延 90 人	
・ 出版物名：その他書籍 (2種)	購入者数：	延 467 人		
	合 計	延	2, 7 6 6 人	
評価 項目 Ⅱ	行事開催による粗収益 (行事収入－行事実費)	行事粗収益計：	2,146 千円	
	・ 行事名：安全で経済的な施工計画を行うための講習会(1/2,1/2)	行事粗収益：	125 千円	
	・ 行事名：第4回 道路橋床版シボゾウム	行事粗収益：	958 千円	
	・ 行事名：第7回鋼構造と橋に関するシボゾウム	行事粗収益：	390 千円	
	・ 行事名：鋼構造イコングセミナー (2回)	行事粗収益：	559 千円	
	・ 行事名：第3回 木橋技術に関するシボゾウム	行事粗収益：	114 千円	
	出版物の出版粗収益 (当期売上高－当期売上原価)	出版粗収益計：	2,088 千円	
	・ 出版物名：鋼構造シリーズ (4種)	出版粗収益：	154 千円	
	・ 出版物名：構造工学シリーズ (複合構造3種, 1/3)	出版粗収益：	98 千円	
・ 出版物名：その他書籍「2種」	出版粗収益：	1,836 千円		
受託研究による粗収益 (受託額－研究実費)	受託研究粗収益計：	1,300 千円		
・ 受託件名：(学術文化事業-指定型-2件の管理費)	受託研究粗収益：	1,300 千円		
	合 計	5, 5 3 4 千円		
活動度評価Ⅰ, Ⅱ以外で、重要と考えられる活動の内容と規模				
<p>最新の研究成果を取り入れた、国際的に通用する「鋼・合成構造標準示方書」を作成することを目的に「鋼・合成構造標準示方書小委員会」を立ち上げた。この示方書は、総則編、構造計画編、設計編、耐震設計編、製作・施工編、維持管理編から構成され、それぞれの編に対応する部会も立ち上げ、活動を開始した。また、この示方書をアジアコードへと展開する準備として、幹事会メンバを中心に以下の海外交流を行った。</p> <p>(1) 韓国鋼構造関係者との打ち合わせ (2004年7月1日, ソウル・POSCO 本社会議室 (ソウル)) 当小委員会の設立趣旨, アジアコードへの展開の説明の後, 意見交換を行った。情報交換しつつ, アジアコード作成へ互いに努力することを確認した。韓国の方1名に小委員会メンバに加わっていただくこととした。 出席者 日本側：5名, 韓国側；10名</p> <p>(2) 韓国 KBRC(Korea Bridge Research Center)とのミーティング (2004年12月2日, ソウル・KBRC(Seoul National Univ.) KBRC (Korea Bridge Research Center) の活動状況の調査, 意見交換。KBRC の鋼構造代表者に小委員会メンバに加わっていただくこととした。 出席者 日本側：1名, 韓国側；2名</p> <p>(3) タイ工学会との交流 (2005年1月7日, タイ工学会) セミナー開催とアジアコードに関する意見交換。アジアコードについては継続的に情報交換することとした。 出席者 日本側：6名 タイ側：多数</p>				

